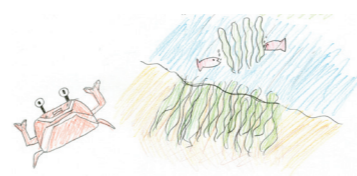


# 森と海の深いつながり実感



日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一環として、9月10日と11日に開かれた「かがわ sea マスター 海のええもん見つけ隊」。隊員に選ばれた県内小学5、6年生計16人がまとめた今回の新聞のテーマは「森と海のつながり」です。



## 保水力の違い観察

### 丸亀でフィールドワーク



保水力のある地面をスポンジに見立て、水がゆっくりと流れることを確認する隊員たち

隊員たちは11日、丸亀市の綾歌森林公園でフィールドワークを行いました。森林インストラクターの担当者と一緒に山に入って、遊歩道の土の状態を観察。踏み固められた地面は水が染み込みにくいなど、保水力がほとんどないのに対し、落ち葉が積もった土には多くの水が染み込んでいくのを確認しました。担当者が「森の木々が減ると、雨が降ったときに土砂や濁った水が大量に海に流れ出て、周辺の海の植物や魚に大きな影響を与える」と説明。隊員たちは、森が水の流出量を調整する大きな役割を果たしていることを理解しました。

山中では、人が歩いて踏み固められた地面と、落ち葉が積もっている場所に水を流し、保水力の違いを観察。落ち葉と腐葉土の層を通った水は栄養分が多く、川を通じてゆっくりと海に流れていくことで、海の生き物に

もよい影響を与えていることがわかりました。途中、遊歩道には木々から伸びた葉に雨水が光っていました。雨は葉に当たること、ゆっくりと地面に落ち、ゆっくりと染み込んでいくそうです。

約1時間半のフィールドワークで、森の中には豊かな海をつくる自然のシステムがたくさんあることが体感できました。森と海は深くつながっていることを意識して、環境を守る生活を続けていきたいです。



森林インストラクターの説明を聞く隊員たち



## かがわ sea マスター海のええもん見つけ隊に参加して

◆秋山諒太さん(一宮小5年)これからは、海でゴミを拾ったり、里海の活動を通じて、海の環境を元通りにする手伝いをしていきたいです。

◆松本絆愛さん(牟礼北小5年)藻場や漁礁などを学び、私たちと海のつながりについて考えました。海の環境を良くする取り組みをしたいです。

◆吉田結香さん(新番丁小6年)豊かな森を守るため、木を増やすなどたくさんのお話を学びました。今後も環境を守る行動をします。

◆今田愛子さん(牟礼北小5年)海の環境、森と海のつながりなどを学んだので、ゴミ拾いをする、ポイ捨てをしないことを実行していきます。

◆武田結菜さん(新番丁小6年)藻場を守るために種まきは必要だけど、自分でできることもあります。藻場の大切さを友達や家族に伝えます。

◆中條和真さん(国分寺北部小6年)藻場は魚のすみかとして、大きな役割があることがわかりました。まずはゴミ拾いから取り組みたいです。



◆川崎智生さん(亀阜小6年)海は本当に大切だと思いました。瀬戸内海の特徴を生かし、環境を良くするために努力していきたいです。

◆江浪あいりさん(牟礼北小5年)海や森のために、クリーン活動やゴミの分別を心がけたり、マイバッグなどを持ち歩く活動をしていきたいです。

◆岡崎玄宗さん(附属坂出小6年)森は海に栄養を補給し、生物の「支え」になっています。これからは、ゴミ拾いなどできることをやっていきます。

◆平井穂さん(多肥小6年)海の環境を守るためゴミ拾いやマイバッグを持つなど簡単にできることもあります。友達にも呼び掛けたいです。

◆田所美杜さん(鬼無小5年)人が便利さを求めることで、海などの環境が悪くなることもあることを知りました。

◆松家由依さん(牟礼北小5年)森林や生き物すべてが、海につながっています。電気は必要な時以外は消すなど、すぐできることを実行したいです。

◆十川世怜さん(新番丁小5年)オーブハマチが元気に育つための工夫などを学びました。また、海ゴミを拾うイベントがあれば参加します。

◆井口諒さん(一宮小6年)藻場が魚の卵や稚魚を守っていることに驚きました。いろいろなことを学ぶことができ、楽しかったです。

◆小松亜弥理さん(栗林小6年)海だけでなく、山や森、里もきれいにするため、身の回りのものをコツコツときれいにしていきたいです。

◆平岡夕奈さん(柞田小6年)山の小さな川は、大きな川、海へとつながっていることがわかりました。環境を崩さない生活をしたいです。

### 「藻場の大切さ伝えたい」 「今後も環境守る行動を」

こども  
アート&  
カルチャー

### 音楽

第38回香川ジュニア音楽コンクール(11月3日・穴吹学園ホール)  
グランプリ 木管楽器部門(フルート)・山本涼音(高松一高3年)  
準グランプリ 声楽部門・中村心滯(高松一高2年)▽声楽部門・青柳朱音(同3年)  
石井ルリ子賞(童謡部門から選出) 西崎遥希(新番丁小2年)